

卒業単位数・取得可能学位 大学院バイオサイエンス研究科

(1) 博士課程前期課程（修士課程）

学生は、入学当初に指導教員を確定し、「分子バイオ科学領域」「統合バイオ科学領域」のいずれかに所属します。

1) 修了要件単位数：以下の条件を全て満たして合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受けなければならない。

- ア. 所属領域科目の専攻科目24単位
- イ. 所属外領域の特論（講義）、特論（集中講義）3単位
- ウ. バイオビジネス共通科目より2単位
- エ. 英語科目より1単位

2) 前期課程（修士課程）を修了するためには上記の単位を修得するとともに、前期課程（修士課程）に在籍する期間内において次のア.を満し、イ.～オ.の項目の中から1項目以上を満たさなければならない。

- ア. 学内の修士論文中間報告会で発表を行い、助言を受けたことを考慮し今後の研究計画書を提出する。
- イ. 修士課程において国内外の学会、研究集会等で筆頭著者として報告する。
- ウ. 本学で開催されるバイオセミナー、学内外で開催される学会、研究集会等に参加し、それに対するレポートを5報以上提出する。
- エ. 国内外の査読付き学術雑誌などへの論文の掲載、または、特許発明者となること（共同著者、及び共同発明者を含む）。
- オ. TOEICで600点以上を獲得する。TOEFLやその他の試験の得点については適宜換算して評価する。

設置科目一覧

区分	科目名	単位	開講期	科目区分			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験実習
専攻科目	分子バイオ科学特論 注)1	2	後期	○			○		
	分子バイオサイエンス特別演習 注)1	2	通年	○				○	
	分子バイオテクノロジー特論 注)1	1	前期集中	○			○		
	分子バイオ科学技術特別研究 注)1 注)3	16	通年	○				○	
	分子バイオ科学技術特別演習 注)1 注)3	3	通年	○				○	
学技術イオ科	統合バイオ科学特論 注)2	2	前期	○			○		
	統合バイオサイエンス特別演習 注)2	2	通年	○				○	

	統合バイオテクノロジー特論 注)2	1	前期集中	○			○		
	統合バイオ科学技術特別研究 注)2 注)3	16	通年	○				○	
	統合バイオ科学技術特別演習 注)2 注)3	3	通年	○				○	
バイオ・ ビジネス 共通科目	研究倫理	1	後期	○			○		
	バイオビジネス特論	1	前期集中	○			○		
	タカラバイオ特別講座 「実践バイオインフォマティクス」 注)4	1	集中			○	○	○	
英 語	アドバンスト英語	1	前期	○			○	○	
インター シッ プ	インターンシップ実習 注)4	1	通年			○			○

注) 1 : 各所属領域によって必修科目が異なります。

「分子バイオ科学技術領域」所属の学生は、分子バイオ科学技術領域の科目が必修となります。

注) 2 : 各所属領域によって必修科目が異なります。

「統合バイオ科学技術領域」所属の学生は、統合バイオ科学技術領域の科目が必修となります。

注) 3 : 各領域の特別研究・特別演習については、修了時一括認定とします。

注) 4 : タカラバイオ特別講座「実践バイオインフォマティクス」「インターンシップ実習」は、単位認定は行いが修了要件外として取り扱います。

(2) 博士課程後期課程 (博士課程)

現行の設置科目(単位数11)の単位を修得するとともに、次の項目を全て満たさなければならない。

- ① 学内の博士論文中間報告会で2回以上発表を行い、発表から1ヶ月以内に受けた助言を考慮し今後の研究計画書を提出する。
- ② 学内の研究報告会で2回以上発表を行う(夏期に指定された日時で実施する。発表(10分発表、5分質疑応答)を英語で行う)。
- ③ 学内外で開催される学会、研修会等に5回以上参加し、それに対するレポートを5報以上提出する。

専 攻	科 目 名	単 位
バイオサイエンス専攻	バイオ科学技術特別研究 (演習含む)	10
	バイオ科学技術特論	1

※博士課程前期課程(修士課程)のバイオ・ビジネス共通科目を履修することができる。
但し、単位認定は行わない。